

令和3年度 ゼミのお知らせ

茨城学習センターの歴代所長・客員教授等によるゼミ全14！茨城学習センター所属学生であれば無料で受講できます。興味のある方、途中から参加してみたい方は事務室（Tel.029-228-0683）までご連絡ください。月ごとの日程を茨城学習センターのホームページに掲載しておりますので、確認してください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>

NEW テーマ『園芸学における最新の話題』

いのうえ えいいち

井上 栄一 毎月第4土曜日 10時00分

概要：農業生産のうち果実や野菜などの園芸作物は副食性食品として我々の健康維持に欠かせない品目です。園芸学は高品質な園芸作物を安定的に生産するための学問分野です。本ゼミでは園芸学における身近な話題を取りあげて教員から解説したうえで、内容について皆で議論して知識を深めたいと思います。

計画：教員から園芸学分野における最近のトピックスについて30分程度の話提供を行います。次いで内容に関連する課題を設定して皆で議論します。話提供の内容としては、「最新の品種と育成の背景」、「最先端の栽培技術」、「収穫後の品質維持」、「生産物の健康機能性」などを考えています。

メッセージ：はじめて農学を学ぶ方でも参加できるように、果実や野菜の生産や利用について身近なトピックスを題材として園芸学に親しんでいただけるようなゼミにしたいと考えております。



NEW テーマ『情報通信について考えよう』

はぶち ひろまさ

羽淵 裕真 毎月第2または第3土曜日 10時00分

概要：ネットニュースをはじめ、多くのメディアで取り上げられている情報通信に係る専門的なキーワードやバズワードについて、理解を深めます。例えば、情報セキュリティ、フィルターバブル、5G、光ワイヤレス、IoT、Society5.0、DXなどです。このゼミでは、毎回、1つ程度の話題を提供し、話し合いながら理解を深めていきたいと思います。

計画：第1回目に取り上げる予定のキーワードやバズワードを提示します。毎回のゼミでは、その日のキーワード(又はバズワード)に関する話題を提供し、その後ワークショップを行います。ワークショップでは、皆さんが付箋にキーワードに関する考えなどを書いて貼り出し、それをグループ分けし、考えを可視化していきます。

メッセージ：言葉は時代とともに変わりますので、その言葉により今を知り、未来を創造／想像できるかもしれません。空想の馳せる限りに思いめぐらしてみましよう。ワークショップは初めての試みですので、一緒に楽しみましよう。



テーマ『R. Carson: The Sea Around Us. を読む』

あさの よういち

朝野 洋一 原則隔週月2回程度 日曜日 10時00分

概要：海洋は地球上の生命の故郷であり、その豊かな資源は今日まで人類を始め多くの生物の命を支えてきた。しかし、近年はマイクロプラスチック等廃棄物による汚染、資源量の減少、温暖化に伴う海面上昇、放射性廃棄物の投棄など諸問題が多発している。持続可能な開発目標の一つである海洋についての理解を深めたい。

計画：テキストは2018年刊行のOxford UP版を使用。1951年の初版に著者注を加えた1961年版を基にしているため、その後著しく発展した生物・地球・海洋諸科学の知見を参照しながら読む必要がある。日本語訳(「われらをめぐる海」早川ソフィクション文庫)もあるが、原文を丁寧に読むことを心掛ける。



テーマ『解析の基礎から応用数学へ』

おく たつ お
奥 達雄

原則毎月第3日曜日 13時00分



概要：クライツイグ(E. Kreyszig)著”Advanced Engineering Mathematics(和訳=技術者のための高等数学”)の第10版Part A:常微分方程式を中心に英語版を使って進めています。この本は理論から応用まで比較的理解しやすく説明されています。演習問題の多いのが特徴で理解を深める助けになります。第5版,第8版については和訳も出ています。

計画：参加者が分担して内容及び演習問題の解答を説明することによって進めていきます。疑問点及び理解しにくい部分を解消するように努めます。第10版は第8版と演習問題などは違っているようですが、共通点も多いので、訳本は参考になると思います。

メッセージ：微分方程式は理工学、経済学など広範囲の分野で応用されています。種々の問題のモデル化とその結果の微分方程式のうちまず常微分方程式の解法について学びます。数学の応用に興味を持つ方の参加を歓迎します。微分積分の基礎を学んだ人なら理解できる内容です。

テーマ『水戸城下の武士・商人・職人を辿る』

おの であ あつし
小野寺 淳

隔月第1金曜日 15時00分

隔月：現地調査2時間(不定期) 10時00分



概要：幕末に水戸城下に居住した武士・商人・職人のその後の足跡を、聞き取り調査によって辿っていきます。水戸城下を歩きながら、現在の市民にお話を伺いながら、明治以降の変化を明らかにしたいと思います。

計画：水戸城下を歩きながら聞き取りし、その成果を翌月のゼミで報告しながらゼミ生の共有化を図ります。水戸城下の現地調査は月1回ゼミ生のご都合が合う土曜か日曜日に実施します。

メッセージ：日常的に見なれた水戸の町でも、歩きながら聞き取りすると新たな発見があります。さあ、町歩きで新たな感動を実感してみませんか。

テーマ『ドイツ語を楽しもう』

さとう かずお
佐藤 和夫

原則毎月第2木曜日

(A:10:30~12:00、B:13:30~15:30)



概要：外国語と言えば英語ばかりが突出していますが、「教養」を標榜する放送大学では他の外国語の学習機会も提供しています。このゼミでは入門から中級までさまざまな素材を通してドイツ語の世界に触れていきます。

計画：時間帯をB(中級)とA(入門・初級)に分けて行います。Bはドイツ語既修者向け、Aは初心者向けです。Bでは中級者用に読みやすくしたドイツ文学の作品を読んでいきます。モットーは“ohne Hast, aber ohne Rast”(「急がず、されど休まず」ゲーテ)

メッセージ：入り口を少し入りやすくしました。ドイツ語が未知の人もう一度やり直したい人もどうぞ。

テーマ『初歩の統計学(Basic Statistics)』

しおみ まさえ
塩見 正徳

原則毎月第3日曜日 13時00分



概要：塩見先生と一緒に、統計学の基礎を学びます。統計学も計算用プログラムも一から勉強する絶好のチャンスです。ゼミでは、平均やバラツキの表し方、身長と体重のような連続数、人数や個数など不連続数の扱い方などから勉強を始めます。身長や体重のように関連する2つ以上の形質の相互関係を把握できる手法の勉強などの方法とそのプログラム利用へ進みます。

計画：(1)4月から、山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎著「Rによるやさしい統計学」(オーム社)をテキストに勉強を始めます(テキストは各自ご準備ください)。(2)毎月1回のゼミで、上記テキストに沿って、専任の講師が講義を行い、みんなで演習を行います。次回の学習内容、日時、場所は事前にE-mailで連絡します。

メッセージ：(1)普段に、アンケート調査や伝染病の広がりなど、新聞で見られる数字をより正確に理解できるようになり、身の周りのデータを自分でまとめたいと思うようになります。(2)統計学の世界を覗き、フリーの統計言語“R”の学習を手段に、統計にはまり込むまで、応用範囲を広げて下さい。基礎も演習も、先を急がず、じっくり学習します。過去に学んだ経験のある人もどうぞ。

テーマ『実用統計学(Advanced Statistics)』

しおみ まさえ
塩見 正衛

原則毎月第1日曜日 13時00分

概要: (1) 統計学の基礎を終えたみなさんと、塩見先生と一緒に、一歩進んだ統計学と手法を学びます。5月からは、今話題になっている「ベイズ統計学」を本気で身につけていきます。ベイズ統計学は、100年以上研究・利用されてきた現在の統計学とは、その基礎概念が少し異なっていて、若者に人気のある統計学と手法です。計算速度の速くなったPCを誰でも使えるようになった恩恵を試してみませんか！ (2) 社会現象や自然現象から研究テーマを見つけ、統計的手法を利用して問題解決に取組みます。勉強したい方も、研究したい方も大歓迎です。

計画: 毎月1回のゼミで、豊田秀樹著「心理統計法」(放送大学教材'17)をテキストに、専任の講師が講義を行い、また研究の討論・発表を促します。テキストは「心理…」で始まりますが、心理学に関心のない方も抵抗なく読める「統計学」の本です。

メッセージ: 新しい統計学を勉強しながら、自分が持っておられるテーマや疑問を、統計的手法を通じて解決してみようと思われる方はどうぞ！ みんなで楽しみましょう。



テーマ『やさしい英会話教室』

しらいし まさたけ
白石 昌武

毎月第2または第3土曜日 10時00分

概要: 中学校から英語を学んでいるが英語を話せない。文法を気にし過ぎ、中々言葉として出せない。そこで文法などを気にせず、出来るだけ易しい単語を用いて口に出すことから始めよう。例えば: When did you get up this morning? (今朝何時に起きましたか?) I got up at seven. (7時です)のように昔学んだ易しい単語を用い、文章を口に出して他の人に伝える、これが基本です。

計画: しばしば用いられる英語フレーズに基づき、知っている単語を使って短時間で自由に文章を作成し発表する。それについて参加者が英語で自由に質問する。

メッセージ: 令和3年3月現在、参加者は50歳から70歳過ぎの方々5~6人で、和気あいあいと楽しくやっています。どなたでもお気軽にどうぞ。



テーマ『西洋音楽の伝統的な発声法を研究、身に付け、楽曲に適した歌唱を行う』

たにがわ よしゆき
谷川 佳幸

原則毎月第2水曜日 13時30分

概要: 発声法というものがなぜ必要なのかを理解し、様々な発声法について考えます。発声練習を継続して行うことで技術を身に付け、楽曲に適した演奏ができるよう試行していく。まずはイタリア語の曲から始め、日本語の歌を的確に表現できるようになることを目指します。

計画: 毎回まず発声練習から始めます。ただ音型を繰り返すのではなく、それぞれ何を目的にした練習なのかを理解して取り組む。その後、練習曲、イタリア歌曲、その他の外国語歌曲やオペラアリアなどを扱っていきます。なぜ外国語の歌から始めるのかを歌うことで理解し、日本語の歌に移ります。

メッセージ: いい声を生まれつき持っているのは恵まれたことですが、それだけでよい歌が歌えるわけではないし、良い声を作るための技術が発声法です。主に歌声について学んでいきますが、もちろん普段の話し声にも役立ちます。楽しく腹の底から声を出しましょう。



テーマ『健康生活について考えよう』

つじ ようこ
辻 容子

毎月第3水曜日 10時00分または14時00分

概要: 最近、日々の暮らしのなかで健康問題について取り上げられ、健康や健康問題について関心が高くなっています。身近なことから話題を持ちより、現在の生活からより健康的な生活について語り、考えましょう。

計画: ゼミ参加者の関心のあることから 相談しながら進めていきます。

メッセージ: 自分らしく年を重ねるために必要なことを考える場にしたいと考えています。

※学内使用不可の際は遠隔でのゼミ開催も可能です



テーマ『香りの文脈』

ほりぐち さとる

堀口 悟

原則毎月第3土曜日 10時00分



概要: 文学と香りとの関係を、実践をも交えながら考えて行きます。例えば、平安朝文学の底流を流れる薫物文化について、その文脈に隠された奥深い意味を考えながら、実際の薫物の香りも鑑賞します。

計画: 昨年度は、『古事記』『日本書紀』『万葉集』の時代から始まって、『古今和歌集』まで、その文学作品の背景となる香り文化を解説したり、実際に香りに接したりしながら進めてきました。今年度は、いよいよ平安時代の物語を取り上げて、楽しく進めて行ければと思います。

メッセージ: 普段の放送では体験できない香りの実践と、お互いに意見を交換しながらの文学作品鑑賞を通して、文学と香文化に親しんで頂けたらと存じます。

テーマ『幸福について考える』

わたなべ くにお

渡邊 邦夫

原則毎月第2日曜日 10時00分



概要: 西洋哲学の幸福にかんする考えを、古代ギリシャと現代のいくつかの立場をみながら検討します。その検討のなかで、周りの人と自分の関係や、「うまくいくこと」と「本当の幸福」の関係などについて、自分でこれまで考えてきたことを表現したり、より明確にしたりすることにより、今後の人生が味わいをもつようにしたいと思っています。

計画: 短いテキストを読んで西洋哲学の幸福論にふれて、人生にどう生かせるか考えるという授業をします。扱う哲学者はセン、ヌスバウム、ネーゲル、ファインバーグなど現代の議論と、プラトン、アリストテレスから選びます。生活実感に近い問題から入りますから哲学の学習経験がなくとも大丈夫。質問と意見交換に時間を割きます。

メッセージ: 「幸福の専門家」はいません。全員が人生の主演で、全員が自分の幸福の責任者です。でも人は迷いも後悔も多いので、哲学者の提言に触発されて問題を整理して考える機会にも、ほかでは得られない独自の価値があります。

テーマ『カウンセリングとは何なのだろう』

わたなべ こうけん

渡邊 孝憲

おおむね毎月第4土曜日 13時00分



概要: 一昔前、カウンセリングは、クライアントの悩みや問題の解決だけでなく、人格を発達させ、生き方に目を向けてその後の生き方を見いだせるようになることを目指していた。しかし、近年は前者のみを目的とするものが多くなってきたようである。

「カウンセリングを受けて本当に良かった」と思えるのはどんなカウンセリングなのだろう。さまざまな事例や自由な話し合いを通して考えたい。

計画: カウンセリングのビデオの視聴、論文購読、それらについての、あるいは自分自身の経験を通しての話し合いを通してカウンセリングとは何なのか、そのためにカウンセラーに必要な話の聴き方や態度、技法について考えていきます。

メッセージ: 誰かが話しているときにはまずはそのまま受け止め、すぐに否定や批判や非難、また、同意といった判断をせずに、自分の中で起こっていることをゆっくり見つめましょう。そしてそれがどんなに難しいことかを実感しましょう。

お申込みは事務室までご連絡ください
(年度ごとにお申込みが必要です)

